



メロン熊(左から2人目)と記念撮影するヒデヨくん(同3人目)

## ヒデヨくんがメロン熊賞を受賞

福島ゆるキャラ万博

郡山市のビッグパレットふくしまで3月23日に開かれた、福島ゆるキャラ万博で、町のご当地キャラクター「ヒデヨくん」がメロン熊賞を受賞しました。「ふくしま再興祭り2014」のイベントの一つとして開催されたゆるキャラ万博には、県内のゆるキャラ38体が集まったほか、ゲストとしてふなっしーやメロン熊なども参加。メロン熊のハートを射止めたヒデヨくんは、かじりつかれる恐怖におびえながら賞状を受け取りました。

## 霜の被害から農作物を守る

町農林課内に防霜対策本部を設置

農作物を霜の被害から守るため、関係機関と連携し対策技術の指導や関連情報の提供などをする町防霜対策本部は4月16日、町役場農林課に設置されました。役場正面玄関で行われた看板の掲額式では、前後町長が「本町における一年間の農作業が安全に行われ、無事、実り多い秋を迎えられるよう祈ります」とあいさつ。鈴木正晃J A あいづ猪苗代地区統括支店長と共に看板を掲げました。対策本部の設置期間は5月末までの約1月半です。



看板を設置する前後町長と鈴木統括支店長(右)

## 納税への長年の協力に感謝

退任納税貯蓄組合長に感謝状贈呈

町納税貯蓄組合永年在職(退職)者に対する表彰式は4月15日、町役場で行われました。表彰は、町納税貯蓄組合長大会の席上で行われ、長年にわたり組合長を務めた皆さんに、前後町長から感謝状とお礼の言葉が贈られました。感謝状を受けた皆さんは次のとおりです。(敬称略。かっこ内は行政区)

渡部謙(松橋浜)、上野治雄(白津)、鈴木和雄(関脇)、佐藤昭男(都沢)、佐藤健(金曲)、遠藤正浩(水沢)



前後町長から感謝状を受ける渡部さん(左)

## 信頼される自衛官目指し頑張って

町自衛隊協力会が入隊予定者を激励

町自衛隊協力会の自衛隊入隊予定者激励会は3月26日、町役場で行われました。激励会には、同会会長の前後町長、宇月晴彦副会長と入隊予定の小川広さん(六角＝田村高卒)が出席。前後町長が小川さんに激励金を贈呈し、「社会人としての自覚を持ち、信頼される自衛官になってください」とはなむけの言葉を送りました。小川さんは「今年、猪苗代から入隊したのは自分だけなので、しっかり頑張りたいです」と抱負を述べました。



前後町長から激励金を受ける小川さん(右)。左は宇月副会長



土屋教育長に額を手渡す金田さん(右)

## ならぬことはならぬものです

町内の各学校に「什の掟」額寄贈

会津若松市の金田耕作さんは4月17日、町内の各学校に「ならぬことはならぬものです」と書かれた「什の掟」額を寄贈しました。金田さんは、世相の乱れを憂いてこの額を制作したとのことで、昨年からは会津管内の学校に額を贈っています。町役場を訪れた金田さんは「児童、生徒の人格形成に役立ててほしい」と土屋重憲教育長に額を手渡しました。この額は、教育委員会を通じて猪苗代高校と町内の各小、中学校に配布されました。

## 地域を守る消防団員に辞令

町消防団辞令交付式

町消防団の辞令交付式は4月6日、町役場で行われ、166人の団員に辞令が交付されました。五十嵐正義団長は「有事に備えて十分に鍛錬し、地域住民の期待に沿うことのできる団員となるよう励んでほしい」とあいさつし、各分団の代表者に辞令を手渡しました。新入団員50人を代表し、佐藤大輔さん(5分団)が「良心に従って消防の義務を遂行します」と宣誓、五十嵐団長から消防団の法被(ほっぴ)を受け取りました。



新入団員を代表し、宣誓する佐藤さん(右)

## 音楽を通して復興を支援

猪苗代吹奏楽団が町に寄付

猪苗代吹奏楽団は4月9日、震災復興支援協力金として町に24,000円を寄付しました。同団は3月、学びいなど「福島県復興祈念演奏会」を開催。その際に来場者から募った善意が寄せられたものです。演奏会には、同団と交流を続ける東京都の実践学園高校合唱部や会津学鳳中学校・高校吹奏楽部、東中合唱部などが出演しました。贈呈式は同日、町役場で行われ、齋藤直団長と阿部達也副団長が前後町長に寄付金を手渡しました。



前後町長に寄付を手渡す齋藤団長(中央)と阿部副団長(右)

## みんなで守ろう美しい湖

猪苗代湖北岸で清掃活動を実施

「猪苗代湖クリーンアクション2014」は4月19日、猪苗代湖北岸で行われ、町内外から集まったボランティアなど約300人が湖岸の清掃活動に取り組みました。町と県、県産業廃棄物協会の主催で、美しい湖を次世代に継承するため、水環境保全活動と意識の高揚を図ることを目的に実施。参加者たちは、水質日本一の復活を目指し、白鳥浜、松橋浜と青浜で湖岸に打ち上げられたごみを熱心に拾い集めました。



湖岸のごみを熱心に拾い集める参加者ら